

令和3年7月28日(水)

~8月22日(日)

午前9時30分~午後5時

月曜日・第2火曜日休館

市立図書館 2階展示コーナー

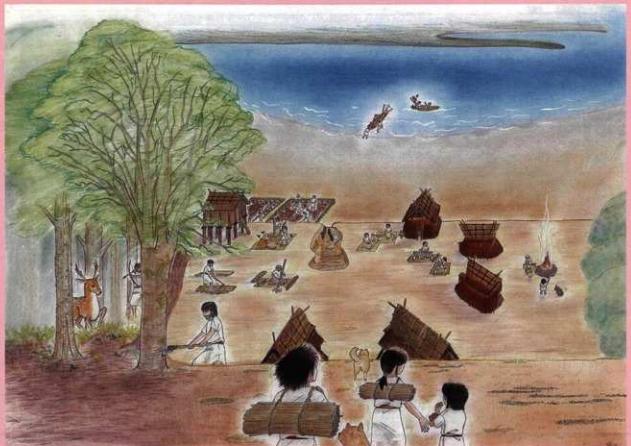
第24回

発掘展

~子どものための考古学~

さんかい
下之宮遺跡出土「三槐」印のある輸入椀

弥生時代の久留倍遺跡（約2000年前）



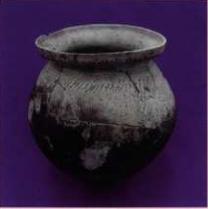
弥生時代の久留倍遺跡の想像図

大矢知町で見つかった久留倍遺跡からは、弥生時代（約2000年前）にあったムラも見つかっています。久留倍遺跡では、弥生時代の人びとが生活に使っていた道具類が数多く見つかっています。



【弥生土器 罐】

貯蔵に用いられた土器です。壺の表面は、模様をつけて飾られています。



【弥生土器 壺】

土器の下半分は、まっ黒に焼けています。土器の中にお米などを入れて、煮炊きに使ったためです。



【弥生土器 高环】

食べ物の盛り付けに用いられた土器です。

古墳時代の菅野古墳群（約1400～約1300年前）



1号墳



1号墳の石室（北から）



1号墳から出土した須恵器（壺）

6号墳

2号墳

3号墳

4号墳

5号墳



3号墳石室（南西から）



3号墳から出土した装身具
（①②菅玉③勾玉④⑤ガラス玉⑥土玉⑦耳環）



古墳の名称	築造時期	形状	墳丘規模 (m)	石室の大きさ (m)	
				長さ	幅
1号墳	7世紀前半	方墳	12.5×15.0	5.3	1.2
2号墳	7世紀前半～中頃	円墳または方墳	直径約 10	4.1以上	1.15
3号墳	7世紀前半～中頃	円墳	直径約 12	4.6	1.12
4号墳	7世紀前半～中頃	円墳	直径 14	5.16	0.96
5号墳	不明	円墳	直径 10	不明	不明
6号墳	7世紀末～8世紀初頭	円墳	直径 6	2.1(墓坑)	0.6(墓坑)

今回の調査で確認された古墳一覧表



4号墳から出土した須恵器
(ふた付き壺)



4号墳石室（北東から）

えどじたい よっかいち だいかんしょあと 江戸時代 の四日市代官所跡（約410～150年前）

現在の市内中心部は、享保9年（1724年）～
享和元年（1801年）の大和郡山藩（今の奈良県）
領時代を除くと江戸時代を通じて天領（幕府領）
でした。

四日市代官所は幕府領支配の拠点で、市内
北町の中部西小学校の場所にありました。なお、
代官所の建物は明治時代になると、三重県庁等
として使われていましたが、明治9年（1876年）
にすべて焼失しました。

下の写真は、平成11（1999年）の発掘調査で見
つかった橋の橋脚です。



代官所の堀にかかっていた橋の橋脚（手前が代官所）

表紙の土器 下之宮遺跡出土 輸入椀

下之宮遺跡（大矢知地区下之宮町）の試掘調査^{せいじ}
で発見された室町時代（15世紀後半）の青磁の椀
(小片)で、明（今の中国）
から輸入された高級品です。

椀の底には、昔の中国の官
位にちなんだ「三桿」の文字
がスタンプで押されています。



※試掘調査・・・遺跡内に道路や建物をつくる場合に、
事前に地下の埋蔵文化財の状況を調べる調査です。

◆場所 四日市市立図書館 2階展示コーナー

◆編集 四日市市教育委員会 社会教育・文化財課

◆発行 四日市市教育委員会 令和3年7月28日

茶碗



肥前国（現在の佐賀県）で作られた茶碗です。

外側に描かれているのは、雪の結晶の形から
生まれた「雪輪文」という模様です。

天候によって起こる自然現象の雪は豊作の前兆
とされ、人々に喜ばれる縁起の良いシンボルでした。

四日市代官所跡出土

コラム 糸塚古墳群で発見された須恵器 (羽津地区南いかるが町)

今年3月の「額突山市民縁地まつり」に
向けた整備作業中に突然発見された土器です。
土器は、くるべ古代歴史館へ持ち込まれ、
7世紀前半の須恵器であることがわかりま
した。教育委員会で調査したところ、新た
に4基の古墳が発見されました。

なお大正時代には、お隣の今の四日市北
警察の場所から、同じ7世紀ごろ
の龍の模様がデザインされた大刀
が発見され、現在は東京国立博物
館で保管されています。

向かい合った龍を
イメージしているよ



糸塚古墳群で発見された須恵器